

一酸化炭素の事故に注意！

～板橋区内で一酸化炭素中毒事故が発生～

炭火やガス機器の不適切な取扱いによって、お店の従業員だけでなく、来店したお客さまも巻き込む重大な事故になる恐れがあります。

令和3年6月、板橋区内で炭火の不適切な使用が原因と思われる一酸化炭素中毒事故が発生し、8名の方が救急搬送されました。

炭火やガス機器の不適切な取扱いによって、尊い生命が脅かされる危険性があります。



一酸化炭素中毒とは

火が燃えるとき酸素が足りなくなると、不完全燃焼になり一酸化炭素が発生します。一酸化炭素は、体内で酸素を運ぶ赤血球中のヘモグロビンと結合しやすく、血中の濃度が高くなると体内に酸素を送ることが難しくなります。その結果、頭痛・めまい・吐き気や、症状が悪化すると意識があっても体が動かなくなったり、最悪の場合死亡することもあります。

重要

事故を防ぐには



火を使うときは、必ず換気しましょう！

火は必ず換気扇や換気設備を運転した状態で使用しましょう。

ガス機器を使用する場合は、火が青色であることを確認しましょう。



ガス機器や換気設備は、きれいに清掃しましょう！

ガス機器の給排気口や換気設備の吸込口に油汚れやホコリなどが溜まると、きちんと換気ができなくなります。



万が一に備えて、一酸化炭素警報器の取付けを！

一酸化炭素は無色・無臭で、発生に気付かず中毒になる場合がほとんどです。それを防ぐために、業務用厨房施設の環境に合わせて作られた「業務用換気警報器」の設置をお勧めします。




一酸化炭素中毒が発生したら

一酸化炭素中毒の初期症状は、風邪に似ていると言われていています。ガスや炭火などの「火」を使っているときに体調不良を感じたら、真っ先に一酸化炭素中毒を疑って以下の対処をしてください。

- 1 すぐに炭火やガス機器の使用をやめる。
- 2 ドアや窓の開放、換気扇の作動など、室内の換気をする。
- 3 新鮮な空気のあるところへ移動する。
- 4 医療機関を受診する。

意識がないなど緊急性がみられる場合は、迷わず119番通報してください。

一酸化炭素濃度	呼吸時間と症状
0.02% (200ppm)	2～3時間で軽い頭痛
0.04% (400ppm)	1～2時間で頭痛・吐き気
0.08% (800ppm)	45分以内に頭痛・めまい・吐き気
0.16% (1,600ppm)	20分間で頭痛・めまい・吐き気、2時間以内に昏睡・死亡
0.32% (3,200ppm)	5分以内に頭痛・めまい、30分以内に昏睡・死亡
0.64% (6,400ppm)	1～2分以内に頭痛・めまい、15～30分以内に昏睡・死亡
2.00% (20,000ppm)	4分以内に昏睡・死亡



(新しい毒性学より)

他にもこのような事故が起きています！



火災

油污れや飛散した食材がこんろ周りやレンジフード等の排気設備に付着していると、調理時の火が引火して火災になることがあります。厨房設備の周囲に可燃物をみだりに放置すると、延焼の恐れがあります。

ガス漏えい・爆発

ガス機器が腐食劣化して穴が空くと、その部分からガスが漏えいします。漏えいしたガスに近くの火が引火して爆発します。

お問合せ先



東京消防庁
Tokyo Fire Department

板橋消防署 予防課 防火管理係
TEL 03-3964-0119
志村消防署 予防課 防火管理係
TEL 03-5398-0119